

STUDENT LIFE

週刊NY生活・アメリカの学校紹介と学生ライフのページ

少子高齢化問題を考える

プリンストン日本語学校 補習校部中学生が発表

プリンストン日本語学校補習校部3年のクラスで10月18日、日本の少子高齢化問題を考えるプロジェクトの発表を行った。

今回は、保護者のほかに、特別ゲストとして、プリンストン大学で人口学、男女格差、少子高齢化問題などを研究している打越文弥氏がコメンテーターとして参加した。

生徒たちは、(1)出生率を上げるためにはどのような社会システムを構築したらいいだろうか？(2)急増する「高齢者」を社会としてどう支えていけばいいだろうか？(3)労働力不足を補うためのAI活用について考える。(4)労働力不足を補うための



「外国人労働者受け入れ」について考える、という課題に取り組み、リサーチを重ね、スライドを用いて発表した。同時に「50年後の世界」というテーマで書かれた「近未来小説」の朗読も行われた。

打越氏からは、生徒たちの発表に対する講評に加え、「少子化の大きな原因の一つとして、結婚しない若者が増えている」「日本企業の年功序列システムの中

で、途中入社の人材を受け入れることの難しさが、外国人労働者の賃金を上げる上での障害になっている」となどの指摘があった。

生徒の発表には、「少子高齢化問題を打開するためには、今、常識と知られていないことを変える必要がある」という強いメッセージが込められており、「近未来小説」には、50年後、少子高齢化が進み衰退していく日本を救うリーダーとして、海外での生活経験がある女性首相が登場した。

発表のなかで見られた若い世代の発想の柔軟さ、実現可能と思われ説得力のある提言は、参加者全員も希望があり、参加者全員の問題意識がより向上した時間となった。

アメリカの教育事情

リロ・リダックが11月17日ハイブリッドウェビナー開催

詳細はウェブサイト https://us06web.zoom.us/join/register/WN_M7tsIS_FSvSUX9N6P0nPg

楽しい デジタル版 www.nyseikatsu.com

リロ・リダック・インクは11月17日(木)午後1時から、ハイブリッドウェビナー「アメリカの教育事情と親の関わり方」を開催する。学齢期の子どもを連れてアメリカに赴任中、または渡米予定の家族を対象

講師は米国教育コンサルタントで、BrooklynのKosodateを主宰する辻沙織さん。参加費無料で要事前登録。先着10人限定でNY本社にて対面講演も可能。参加が難しい人は、後日ウェビナー録画視聴用URLを送付。



新校舎移転記念式

「The New World」というスローガンの下、12年の「11ひきのね」34年の「何でも引き受け株式会社」、56年は昨年引き継ぎ「GJSビブリアバトル頂上決戦2022」本を知り人を知る」で朗読、劇、クイズなどを取り入れた発表を行った。78年は修学旅行で訪れたアイミッシュ村の歴史についての劇を行った。特に一人の個性を生かして生演奏を取り入れ、音響・照明等の効果も工夫した。9年生はディベートの予選を勝ち抜いた団体戦決勝を行った。論題は「日本は救急車を有料化するべきである」でステージの上で肯定・否定に分かれて各チームで話し合い主張し合った。初等部は2部合唱で「ビューティフルネーム」、中等部は合奏「夜に駆ける」を披露した。さらに、新しい校舎の教室前に各学年の学習の作品を展示し、事前に録画した英語スピーチと国語科の意見発表上映も行った。初等部、中等部それぞれの子供たちが練習から心一つにして作り上げる貴重な経験ができた。観客から大きな拍手が送られ、新校舎で心に残る素晴らしいスクールフェスティバルとなった。

学校祭開催

ニューヨーク日本人学校(コネチカット州グリニッチ、岡田雅彦校長)は10月14日、新校舎移転式及び校舎移転初めての学校行事「スクールフェスティバル」を行った。

新校舎移転記念式では、在NY日本国総領事館首席総領事の遠藤彰氏、NY教育審議会会長の鮫島夏洋氏、NY日本人学校PTO会長の天目祐二氏より祝辞をいただいた。スクールフェスティバルの演技発表では「最高を受け継ぐ」NY日本人学校

帰国生のための学校案内 2023年度首都圏版が発刊

1983年設立の海外赴任経験のある母親達によるボランティア団体、フレンズ帰国生母の会が、「母親が歩いて見た帰国生のための学校案内2023年度首都圏版」を発行した。

同書は、海外で子育てを経験した母親たちが実際に学校訪問等をして集めた情報を基に作成した学校案内(首都圏版)で、毎年9月に発行している。入試情報、他、帰国生へのインタビュー等、帰国生受験に役立つ情報を掲載し、帰国生

の家庭から好評のガイドブック。製本版とPDF版があり、どちらも価格は3400円。製本版は別途送料がかかる。同会のホームページ(<http://fkkokun.sunbirdcloud.jp>)、他、紀伊國屋USAオンライン(Book's Kinokuniya、母親が歩いて見た帰国生のための学校案内2023首都圏版(9784990965259))でも注文が可能。同会では、帰国生に関するメール相談や電話相談を随時無料で受け付けている。

国内インターナショナルスクールとボーディングスクールを解説

オンラインセミナー開催

シヨナルスクールとボーディングスクールを解説するオンラインセミナーを開催する。テーマは「日本での未就学から高等教育までの国際教育の選択肢。世界2大カリキュラムである国際バカロレア(IBC)とケ

国際教育の手引き

金融庁と企業の海外進出をサポートしているトライコー・ジャパンは、11月10日(木)と17日(木)午後4時から、国内インターナ

Alto 日本語補習校 2023年度説明会

11月5日(土) 15:00~15:45

対面またはZoomでご参加
▼お申込みはウェブサイトへ

自由進度で学べる補習校

水曜日のAfter School
土曜日のWeekend School
2023年度 小学部クラス増設、中学部新規開校
説明会ではAltoでの学びや一日の流れもご紹介

Alto 日本語補習校
Alto Weekend School / Alto After School
<https://alto-edu.com>
@alto.weekendschool

Z会・栄光ラーニングセンター 2023年度説明会

11月12日(土) 16:00~17:00

▼お申込みはコチラ

ひとり一人に最適な学習サポート

きめ細やかな指導
セメスター毎の生徒面談
幼児コースも充実

Z-KAI 栄光ゼミナール
Z会・栄光ラーニングセンター
【お問合せ】 info@ze-edu.com

中村忠会長の誠道塾空手

人間空手始めませんか

創立44年の世界誠道空手道で、本格的日本伝統空手の型、組手、セルフディフェンスの技、そして武道の心を学び、心身の健康を向上させよう。空手を始めるのに年齢は関係ありません。誠道空手はあなたのため空手道です。米40支部、日本30支部を含め全世界120支部で誠道空手を学べます。

会長 中村忠

力よりも技、技よりも心
「人間空手」

二代目 中村 彰

Unlimitedクラス!
空手のコアクラスに加え、コンディショニング、ヨガ、メディテーションクラスも無料で受講可、クラスは毎日、早朝、昼、夜のクラス有り。子供のクラスは4歳から入門できます。家族割引有り。詳細はSEIDO.COMをご覧ください。

本部(マンハッタンチェルシー校): 252 West 30th St., NYC (7 Ave.と8 Ave.の間)
Tel: 212-924-0511
Email: info@seido.com

浄心本山(ウエストチェスター校): 1 Parkway Plaza, Elmsford, NY 10523 (I-87S exit 1, or I-287W exit 2)
Tel: 914-909-5000
Email: honzan@seido.com

無料体験参加者募集!